



平成二十九年八月五日、埼玉県上尾市にて行われました第59回全国教職員剣道大会に福井県代表として出場させていただきました。昨年の本



大会では準優勝に終わり悔しい思いをしていましたので、今年は必ず優勝するという強い気持ちで大会に臨みました。結果は男子個人戦、高・

平成二十九年八月五日 (土) 於 埼玉県立武道館

# 個人戦 高校・大学・教育委員会の部 林田匡平選手が初優勝 第59回全国教職員剣道大会



第 96 号  
発行人  
(一財) 福井県剣道連盟  
会長 片山 外一  
事務局  
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18  
サンライズニの宮 1-B  
TEL・FAX (0776)28-6616  
メール fkickendo@herb.ocn.ne.jp



最後にありますが、今回出場するにあたり応援してくださった皆様、

大・教委の部において優勝することができました。決勝戦の相手は高校・大学の先輩にあたる長崎県の宮崎選手と戦いました。先輩ということもあり、胸を借りるつもりで戦おうと考え積極的に技を出していった結果、試合序盤に小手を決めその直後に引き面を決めて二本勝ちを収めることができました。

本大会では、自分の持ち味である攻め勝ち、積極的に一本を取りに行く剣道を行うことができ、結果を残すことができました。これも、日ごろ稽古をいただいている先生方、先輩方のご指導によるものであると思っています。今後、福井国体、全日本選手権が控えており、より一層稽古に精進し、努力していきたいと考えております。

関係者の方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。 林田 匡平

団体戦  
1回戦  
宮崎戦 ○1代 | 1×  
林田 メ | 加藤

三井 × 佐伯  
奥山 × 島津  
松井 × 河野  
柳原 メ | メメ 中武  
代表者戦  
奥山 メ | 島津

2回戦  
岩手戦 ×2 | 3○  
林田 メメ | 渡邊  
三井 | メコ 菅野  
奥山 メ | メメ 古舘  
松井 メ | 赤崎  
柳原 | メコ 大向

個人戦  
高校・大学・教育委員会の部  
優勝 林田 匡平

幼稚園・義務教育の部  
奥山 登  
2回戦敗退

女子の部  
伊藤 藍子  
2回戦敗退

## ねんりんピック秋田剣道大会で

## 福井県代表が3位入賞

第30回全国健康福祉祭あきた大会  
(ねんりんピック秋田2017)

剣道交流大会

平成二十九年九月十日(日)

十一月(月)

於 秋田県由利本荘市総合体育館

第30回全国健康福祉祭あきた大会  
(ねんりんピック秋田2017)の  
剣道交流大会が9月10日、11日、全  
国から67チームが参加し秋田県由利



本荘市総合体育館で開かれ、監督兼  
大将 小西清光(三方地区)、副将 奥  
井俊雄(敦賀地区)、中堅 吉田淳夫  
(三方地区)、次鋒 前田宗昭(敦賀地  
区)、先鋒 上嶋啓芳(敦賀地区)の福  
井県代表が3位に入賞しました。同  
大会での福井県代表の入賞は199  
9年、福井県で開催された第12回大  
会での福井県Aの優勝、福井県Bの  
準優勝以来。

10日(日)は4チームによるリン  
ク方式の予選リーグで、初戦が対宮  
崎県戦。先鋒上嶋は先にメンを取ら  
れたものの冷静に試合を進め、出頭  
をとらえたメン、出ゴテで勝利。次  
鋒前田はやや浮き気味のところをメ  
ン、さらに取り返しに出るところを  
ドウで返される。中堅吉田は早々に  
コテを取り、冷静に試合を運び1本  
勝ち。副将奥井はお互いに決め手を  
欠き引き分け。大将小西は軽い足さ  
ばきで圧倒し、早々とメンを2本取  
り、3対1で勝利。2戦目の対相模  
原市戦は2試合目のため選手全員落  
ち着きが出てきた。先鋒上嶋はメン  
を先取したが、2本目のメンを狙い  
に出たところをメンに合わされ引き  
分け。次鋒前田は奮起し鋭くコテを

先取、あとは得意の連打を続けメン  
を決め2本勝ち。中堅吉田は数度の  
交差の後豪快なメンを決める。しか  
しもう1本目指して出るところをメ  
ンに乘られ引き分け。副将奥井は惜  
しい技が何度もあるが、決めきれず  
に引き分け。大将小西はこの試合も  
気合溢れコテを先取し1本勝ち。予  
選リーグ2勝したものの、リンク方  
式なのでこの時点では順位が決まら  
ず。秋田県Bと宮崎県の試合結果次  
第になるが、宮崎県が秋田県Bに1  
対1の本数勝ちを収め、福井県がリ  
グ1位となり決勝トーナメントに進  
んだ。

11日(月)の決勝トーナメント1  
回戦は強豪の三重県。先鋒上嶋は慎  
重に試合を進め引き分け。次鋒前田  
は先にメンを取られるものの慌てず  
1本負け。中堅吉田はこの試合も豪  
快なメンを先取、後は無理せず捌  
き、1本勝ちでタイに持ち込む。副  
将奥井は徐々に調子を上げてきてい  
たが、決め手を欠き引き分け。大将  
小西は同勝同本数同士の大将戦とな  
るが、気合溢れる試合運びで、わず  
か1分半でメンを2本取りベスト8  
を決めた。準々決勝の東京都B戦は、  
先鋒上嶋が絶好調。大柄の相手に諸  
手ツキを決め、会場を沸かせる。そ  
の後コテに来るところを抜いてメン、  
流れを呼び込んだ。次鋒前田も続け

と早々にコテを取るが、2本目を狙  
いメンに出るところを、やや浅いが  
出ゴテを2本取られる。中堅吉田の  
相手は前の試合、二振りが出ゴテ2  
本取っている強者。冷静に試合を進  
め、相手に攻め入る隙を与えず引き  
分けに持ち込む。続く副将奥井も1  
本リードを守り引き分け。このまま  
1本リードで勝利となるが、大将小  
西は今まで以上に氣勢溢れる試合を  
展開。メンを取得すると相手は精彩  
を欠き、そのまま1本勝ちで3位を  
確定させた。準決勝の山口県は2年  
前に優勝した強豪。先鋒上嶋は長身  
の相手に鏑迫り合いで苦戦、数度の  
交差の後メンに出るところ出ゴテを  
打たれる。その後も鏑迫り合いが苦  
しく技を出せずに1本負け。次鋒前  
田の相手は巧者、30秒でメンとコテ  
を取られ2本負け。中堅吉田は後が  
なくなり果敢に攻め続けるが、決め  
手を欠き引き分け。副将奥井はまだ  
1勝もしていないので奮起、得意の  
メンを取り、更にもう1本狙うが時  
間切れで1本勝ち。大将小西は2本  
勝ちで代表戦という苦しい展開の中、  
気力を振り絞り果敢に攻め続けるが、  
時間切れで引き分け。3/2対1/  
1という僅差で惜敗した。二日間  
5試合という熟年には厳しい大会で  
はあったが3位に入賞出来、選手は  
心地よい疲労感と満足感で会場を後

にした。

4月の県内予選以降、全員揃って稽古出来たのは8月の京都府剣連主催の「近府県練成会」のみではあったが、小西選手は6度目、奥井選手は3度目、吉田選手は2度目の出場というベテラン。初出場の前田選手と上嶋選手が大会の雰囲気にも呑まれないようにアドバイスし、良いチームを作り上げていった。

総合開会式を含めて感じたことは、秋田県の競技役員、スタッフ、ボランティアなどの関係者、ただではなく、ホテルのスタッフ、バス運転手などの温かなおもてなしの心、溢れる笑顔が素晴らしい、清々しい気持ちで三日間を過ごせたことです。審判も判定がぶれる様なこともなく、公平な素晴らしいジャッジでした。来年の福井国体運営に大いに参考にすべきところでしょう。

最後にこのような全国大会に派遣していただいた感謝の気持ちと、少しは期待に応えられたかな？という満足感でいっぱいです。後に続く愛媛国体代表をはじめ、各選手の今後の活躍をお祈りしております。  
ねんりんピック秋田2017

福井県チーム代表 上嶋啓芳

優勝 秋田県A

準優勝 山口県

第三位 熊本市  
第三位 福井県

○予選リーグ  
福井県3―1宮崎県  
福井県2―0相模原市  
予選リーグ1位で決勝トーナメント進出

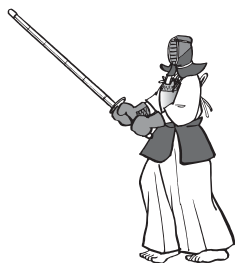
○決勝トーナメント  
1回戦

福井県2―1三重県  
準々決勝

福井県2―1東京都B  
準決勝

福井県1―2山口県

○出場選手  
監督 小西 清光 (三方地区)  
先鋒 上嶋 啓芳 (敦賀地区)  
次鋒 前田 宗昭 (敦賀地区)  
中堅 吉田 淳夫 (三方地区)  
副将 奥井 俊雄 (敦賀地区)  
大将 小西 清光 (三方地区)



### 大会報告行事報告

#### 第51回福井県少年剣道錬成大会

平成二十九年七月二日(日)  
於 福井県立武道館

団体戦 (男子の部)

優勝 武道学園剣道教室

二位 木田剣道スポーツ少年団

三位 織田剣道スポーツ少年団

三位 福井養正館

個人戦

4年生以下

優勝 下 寛人

(丸岡剣道スポーツ少年団)

二位 常田和太郎 (福井養正館)

三位 山口 範登

(福井今立道場)

三位 大石 杏早

(新風館愛宕坂道場)

敢闘賞 矢田部 暁

(織田剣道スポーツ少年団)

敢闘賞 岸本 心

(鯖江志士樹館道場)

敢闘賞 前田 恭吾 (福井養正館)

敢闘賞 森下 和太

(越前少年剣道クラブ)



団体戦 (女子の部)

優勝 敦賀市剣道スポーツ少年団

二位 福井今立道場

三位 丸岡剣道スポーツ少年団

三位 福井少年剣道クラブ



5年生以上

優勝 伊藤 朋哉

(王子保スポーツ少年団剣道部)



林田匡平選手が初優勝  
山田聖子選手が二年連続十回目の優勝

- 二位 山田 優生(福井今立道場)  
 三位 森 陽輝  
 (鯖江剣道スポーツ少年団)  
 三位 宮嶋 凛太  
 (武道学園剣道教室)  
 敢闘賞 笠嶋 洸瑠  
 (木田剣道スポーツ少年団)  
 敢闘賞 安達 一識  
 (木田剣道スポーツ少年団)  
 敢闘賞 山下 慶也  
 (王子保スポーツ少年団剣道部)  
 敢闘賞 守 大翔  
 (鯖江剣道スポーツ少年団)

### 福井県知事杯第十四回 福井県剣道選手権大会

平成二十九年七月九日(日)  
於 福井県立武道館

優勝した林田匡平選手と山田聖子選手



片山外一会長から  
激励のご挨拶

松田県教育振興監から  
ご祝辞をいただく

七月九日(日)に福井県立武道館で開催されました「福井県知事杯第十四回福井県剣道選手権大会」の試合結果は次のとおりです。  
男子は林田匡平選手(学剣連)が初優勝、女子は山田聖子選手(越前地区)が二年連続十回目の優勝を果たしました。  
男子の部優勝の林田選手は十一月三日に東京都で開催される第六十五回全日本剣道選手権大会、女子の部優勝の山田聖子選手は九月二十四日に長野県で開催される第五十六回全日本女子剣道選手権大会の福井県代表選手として、それぞれ選考されました。



白熱した試合の様相

- 男子の部  
 優勝 林田 匡平(学剣連)  
 二位 小谷 佳己(県警察)  
 三位 金子 亮介(県警察)  
 三位 中村 好伸(福井地区)  
 ○女子の部  
 優勝 山田 聖子(越前地区)  
 二位 伊藤 藍子(坂井地区)  
 三位 小辻 朋未(敦賀地区)  
 三位 橋本 一美(坂井地区)

### 17県民スポーツ祭 高校の部

平成二十九年七月十五日(土)  
於 敦賀市立体育館



- 男子団体の部  
 優勝 敦賀高等学校A  
 準優勝 藤島高等学校A  
 第三位 敦賀気比高等学校A  
 第三位 北陸高等学校A



- 女子団体の部  
 優勝 敦賀高等学校A  
 準優勝 高志高等学校  
 第三位 丸岡高等学校A  
 第三位 敦賀高等学校B



男子優秀選手

敦賀高等学校 小嶋 耀介

女子優秀選手

敦賀高等学校 山川 咲愛

### 第9回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

平成二十九年七月十五日(土)

於 日本武道館

先鋒	福井県	堤腰	三重県
次鋒	久島	×	松村
中堅	伊藤	×	大村
副将	山田	×	川口
大将	道内	×	北林
代表戦	道内	×	井上
	道内	×	井上
	道内	×	井上

今年度の選手は、来年の福井国体に向けた強化で稽古量が豊富であり、実力をそれぞれ高めてきた先鋒(高

校生)の堤腰琴菜選手(敦賀高)、次鋒の久島早紀選手(福井工大)、中堅の伊藤藍子選手、副将の山田聖子選手、大将の道内由佳里選手で、何としても今年初戦を突破して上位に進出し、今年の愛媛国体や来年の福井国体への強化に弾みをつけたいと心気力を充実して大会に臨みました。



1回戦の相手は三重県。先鋒の堤腰選手は、対する松村選手と練習試合等で過去何度か対戦しているようで、得意の引き技に対して粘り強く打たせない戦法でした。試合中盤の引き胴や前の技でも相面など堤腰選手の積極的な技がわずかに有効打にならず、惜しくも引き分けとなりました。

も惜しくも引き分けとなりました。続く中堅の伊藤選手は、対する川口選手の勢いのある面技を冷静に捌いて対応し、終盤にその川口選手の面に対してここぞとばかりの相面で勝負に出しましたが、惜しくも有効打には至らず、これも引き分けとなりました。

副将の山田選手は、対する北林選手に果敢に攻め込み、つばぜり合いで相手の足が止まった瞬間に得意の引き面を鮮やかに決めて1本先取しました。残り時間は1分程度あり、さらに2本目の勢いを感じましたが、そこは相手も許さず、終盤は勝負してこない様子で1本勝ちとなりました。

大将の道内選手は、経験豊富な井上選手に対して、堂々と構え試合が開始されました。井上選手がじりじりと間合いを詰めてくるのに対し、道内選手がその剣先を押しさえようとした瞬間に井上選手の飛び込み面が有効となりました。その後、道内選手も有効打を取り返すべく足を使った攻撃を繰り返しましたが、1本負けとなりました。勝数取得本数ともに同数のため本大会のルールに則り大将同士の代表戦となりました。両者中心を取り合い粘り強い攻防のなか、道内選手が小手に打ち込むところの抜き面が有効打となり、代表戦

にて惜しくも初戦敗退となりました。これまでの選手強化は着実に各選手の力となってきました。しかし、昨年も1回戦(対鹿児島県)代表戦となり敗退しており、僅差で次に進出できない段階にあります。今後は、強化稽古や練習試合等でそれぞれの技や機会および間合いなど、課題を忘れずさらに磨きをかけていかなければと思います。

チーム福井で声を掛け合い、互いに激励して頂点を目指しましょう。(記 監督 山本英俊)

### 福井県居合道講習会

平成二十九年七月十六日(日)

於 越前市武道館

石川県剣道連盟から講師を招いて、全日本剣道連盟居合の講習会を開催しました。講師は、昨年、範士に昇格された範士八段 中村正人先生と教士七段 松原剛先生の二名です。全剣連居合十二本を中村先生の解説に合わせ、松原先生が実技で範を示すことで進められました。

低段者と高段者の二班に分かれ、「正しい動き」「気剣体の一致した居合」を大きなテーマに指導を受けました。

十八名の受講者は、自分の指摘された修正点を繰り返し稽古しながら、

朝九時から午後三時まで汗を流して  
いました。

全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会  
出場選手選考会

平成二十九年七月十七日(月)

於 福井県立武道館

一位 森 陽輝

一位 伊藤 朋哉  
鯖江剣道スポーツ少年団

三位 宮嶋 凜太

三位 王子保スポーツ少年団剣道部

四位 守 大翔  
武道学園剣道教室

五位 笠嶋 洗瑠  
鯖江剣道スポーツ少年団

六位 山下 慶也  
木田剣道スポーツ少年団

七位 王子保スポーツ少年団剣道部

七位 安達 一識

木田剣道スポーツ少年団

予選Aリーグ 三方中 2勝1敗  
二位 決勝トーナメント進出  
三方中 1 | 2 柳町中  
三方中 2 | 0 下山中  
三方中 2 | 0 井波中  
予選Bリーグ 明倫中 1勝2敗  
四位 予選リーグ敗退  
明倫中 1(本数負け) | 1 高松中  
明倫中 1 | 3 小針中  
明倫中 2 | 1 鉢盛中  
予選Dリーグ 鯖江中 3勝  
一位 決勝トーナメント進出  
鯖江中 3 | 0 紫錦台中  
鯖江中 3 | 0 奥田中  
鯖江中 3 | 0 下條中  
準々決勝  
鯖江中 3 | 2 三方中  
準決勝  
鯖江中 2(代負け) | 2 松代中

第38回北信越中学校  
総合競技大会 剣道競技

平成二十九年八月四日(金)

於 長野運動公園総合運動場総合体育館

○男子団体

優勝 松代中学校 (長野県)

二位 小針中学校 (新潟県)

三位 鯖江中学校 (福井県)

三位 柳町中学校 (長野県)

(本県出場チームの結果)

予選Aリーグ 三方中 2勝1敗

二位 決勝トーナメント進出

三方中 1 | 2 柳町中

三方中 2 | 0 下山中

三方中 2 | 0 井波中

予選Bリーグ 明倫中 1勝2敗

四位 予選リーグ敗退

明倫中 1(本数負け) | 1 高松中

明倫中 1 | 3 小針中

明倫中 2 | 1 鉢盛中

予選Dリーグ 鯖江中 3勝

一位 決勝トーナメント進出

鯖江中 3 | 0 紫錦台中

鯖江中 3 | 0 奥田中

鯖江中 3 | 0 下條中

準々決勝

鯖江中 3 | 2 三方中

準決勝

鯖江中 2(代負け) | 2 松代中

○女子団体

優勝 燕中学校 (新潟県)

二位 柳町中学校 (長野県)

三位 宇ノ気中学校 (石川県)

三位 松代中学校 (長野県)

(本県出場チームの結果)

予選Bリーグ 三方中 3敗

四位 予選リーグ敗退

三方中 0 | 2 宇ノ気中

三方中 1 | 2 小池中

三方中 0 | 1 坂城中

予選Cリーグ 中央中 1勝2敗

三位 予選リーグ敗退

中央中 0 | 3 燕中

中央中 2 | 1 大門中

中央中 0 | 2 浅間中

予選Dリーグ 今庄中 3敗

四位 予選リーグ敗退

今庄中 0 | 3 奥田中

今庄中 1 | 2 宝達中

今庄中 2 | 2 松代中

○男子個人

優勝 金崎 楓馬 (奥田中学校)

二位 九曜 誠司 (奥田中学校)

三位 安部 伸亮 (小針中学校)

三位 大和 泰雅 (鯖江中学校)

(本県出場選手の結果)

1回戦

中村 (中央中) |

延メ 鈴木 (柳町中)

末本 (鯖江中) |

延メ 九曜 (奥田中)

黒川 (明道中) |

コ 酒井 (紫錦台中)

奥村 (三方中) 延メ |

西川 (刈谷田中)

堂前 (武生第六中) |

メ 長谷川 (直江津東中)

大和 (鯖江中) 延メド |

メ 小口 (松代中)

2回戦

奥村 (三方中) |

延メ 金崎 (奥田中)

大和 (鯖江中) メ |

神田 (井波中)

3回戦

大和 (鯖江中) 延コ |

菅原 (小針中)

準決勝

大和 (鯖江中) メ |

メ 金崎 (奥田中)

○女子個人

優勝 栗山一花 (燕中学校)

二位 本間朱莉 (燕中学校)

三位 佐藤美空 (燕中学校)

三位 傳田円夏 (柳町中学校)

(本県出場選手の結果)

1回戦

井村 (武生第六中) |

延メ 川田 (柳町中)

百木 (中央中) |

メコ 佐藤 (燕中)

菅谷 (中央中) メ |

中越 (邑知中)

大矢 (気比中) メ |

井本 (奥田中)

熊谷 (三方中) |

コメ 大野 (山室中)

壮年男子の部  
優勝 敦賀市A  
(3年連続)  
準優勝 坂井市A  
第三位 越前市C  
第三位 敦賀市B

成年女子の部  
優勝 越前市  
準優勝 福井市A  
第三位 福井市B  
第三位 鯖江市

成年男子の部  
優勝 福井市A  
(2年連続)  
準優勝 鯖江市A  
第三位 福井市C  
第三位 越前市A

17県民スポーツ祭  
剣道競技「市町対抗の部」  
平成二十九年八月六日(日)  
於 福井県立武道館

杉原(今庄中) |  
メ 鎮西(下條中)  
2回戦  
菅谷(中央中) |  
コ 新井(浅間中)  
大矢(三方中) |  
メ 栗山(燕中)



第64回全国高等学校剣道大会  
平成二十九年八月九日(水)  
於 カメイアリーナ仙台  
12日(土)

壮年女子の部  
優勝 坂井市A  
準優勝 あわら市A  
第三位 福井市  
第三位 坂井市B  
熟年男子の部  
優勝 越前市A  
(2年連続)  
準優勝 坂井市  
第三位 南越前町  
第三位 あわら市



女子個人  
堤腰 琴菜(敦賀)  
一回戦 メ |  
中野 佑美(青森・東奥義塾)  
二回戦 コ |  
角田 真優(群馬・沼田女子)  
三回戦 メ |  
白水みつき(佐賀・三養基)  
四回戦 |  
メ 井手璃々華(東京・国士館)  
ベスト16

男子個人  
谷口 貴大(敦賀)  
一回戦 メ |  
楠 孝納祐(静岡・浜名)  
二回戦 |  
メ 及川 拓(秋田・秋田南)  
内田 大樹(敦賀)  
一回戦 |  
メ 小松 聖(山形・酒田光陵)

男子団体  
丸岡1-3 佐野日大(栃木)  
丸岡1-2 市立沼田(広島)  
予選リーグ敗退  
女子団体  
敦賀0-2 和歌山東(和歌山)  
敦賀2-1 玉島(岡山)  
予選リーグ敗退

女子個人  
○男子個人  
一回戦  
中村(中央中) |  
メ 伊東(奈良・登美ヶ丘中)  
奥村(三方中) メ |  
早川(三重・西朝明中)

女子団体  
予選リーグ 今庄中2敗  
3位 予選リーグ敗退  
今庄中 0 |  
4 比叡山中(滋賀)  
今庄中 0 |  
3 神崎中(佐賀)

山川 咲愛(敦賀)  
一回戦 |  
コ 廣瀬 果音(北海道・東海大札幌)  
第47回全国中学校剣道大会  
平成二十九年八月十八日(金)  
於 佐賀県総合体育館  
20日(日)  
予選リーグ 明倫中1勝1敗  
2位 予選リーグ敗退  
明倫中 1(本数勝ち) |  
1 米子北斗中(鳥取)  
明倫中 0 |  
4 関中(東京)

2回戦

奥村(三方中) メメー

岩淵(青森：沖館中)

3回戦

奥村(三方中) メドー

坪内(大阪：新東淀中)

4回戦

奥村(三方中)

メコ 平尾(熊本：九州学院中)

○女子個人

1回戦

井村(武生六中) |

延コ 三輪(茨城：茗溪学園中)

大矢(気比中) 延メー

柳(宮崎：唐瀬原中)

2回戦

大矢(気比中) |

メ 八木(滋賀：比叡山中)

第38回北信越国民体育大会

平成二十九年八月二十日(日)

於 福井県立武道館

成年女子

一位 福井県

二位 石川県

三位 新潟県

四位 長野県

五位 富山県

少年男子

一位 新潟県

二位 石川県

三位 富山県

四位 長野県

五位 福井県

少年女子

一位 新潟県

二位 石川県

三位 長野県

四位 福井県

五位 富山県



第46回少年少女剣道錬成 武生大会

平成二十九年八月二十七日(日)

於 越前市体育館

本年度の大会は第46回を迎えるわけですが、福井国体に向け新しい体育館が出来上がります関係で、この

大会が今までの体育館で行われる最後となり、終わり次第解体されることとなります。今回はその気持ちを表す意味で、「ありがとう越前市体育館記念大会」と銘を打って行うことにしました。

なお、それと同時に、来年は福井国体の年でありますので、開会式のセレモニーの席上、はびりゆうが来てダンスを踊ったり、また、はげましの言葉を頂き、参加した剣士達と一体となり盛り上げて頂きました。大会は、順調に進み、団体戦は、木田剣道スポーツ少年団が2連覇を果たしました。個人戦は、52名の剣士が入賞を果たし、頑張りました。

団体試合成績

- 優勝 木田剣道スポーツ少年団
- 第二位 福井少年剣道クラブ
- 第三位 新風館愛宕坂道場
- 第三位 福井養正館



男子個人試合成績

四年生以下A

- 優勝 藤井 凱斗 立待ス少剣
- 第二位 倉本つばさ 丸岡剣少
- 第三位 吉田 眞 福井少剣ク
- 第三位 熊谷 薩馬 気山剣少

四年生以下B

- 優勝 奥平 大貴 丸岡剣少
- 第二位 野坂 伶央 木田剣少
- 第三位 岸本 掌 志士樹館
- 第三位 中村 颯太 小浜少剣教

四年生以下C

- 優勝 山本 紀仁 王子保ス少剣
- 第二位 鈴木 稜磨 豊神館
- 第三位 糊谷 龍星 養正館
- 第三位 八幡 優 武道学園剣教

四年生以下D

- 優勝 伊藤児太朗 木田剣少



第二位 山田 典悠 今立道場  
 第三位 東林 利晃 福井東部少剣  
 第三位 吉田 幸器 五常館

五年生 A

優 勝 竹澤 陽 松岡少剣  
 第二位 廣中 春親 吉川又少剣  
 第三位 尾崎 凌大 森田少剣  
 第三位 塚本 郁人 武生南剣少

五年生 B

優 勝 齊藤 真刃 松岡少剣  
 第二位 笹原 壮瑠 芦原少剣教  
 第三位 森 三志明 鯖江剣少  
 第三位 坪田 悠士 春江少剣

六年生 A

優 勝 野尻 晃矢 鯖江剣少  
 第二位 五十嵐陽斗 河和田剣友会  
 第三位 東 龍平 福井東部少剣  
 第三位 大川 誠人 松岡少剣

六年生 B

優 勝 竹澤 智貴 松岡少剣  
 第二位 土田 淳志 河和田剣友会  
 第三位 石井 颯人 勝山剣教  
 第三位 森下 聖哉 西部剣教

女子個人試合成績  
四年生以下 A

優 勝 奥田 心優 養正館  
 第二位 林 由佳 志士樹館

第三位 真田 静空 立待ス少剣  
 第三位 平田 はな 松岡少剣

四年生以下 B

優 勝 西山 倫代 志士樹館  
 第二位 加藤 愛由 神明ス少剣  
 第三位 岡田裕梨香 武道学園剣教  
 第三位 西出 樹 神山剣少

四年生以下 C

優 勝 森谷 栞帆 王子保ス少剣  
 第二位 小矢 結貴 小浜少剣教  
 第三位 大辻 彩夏 芦原少剣教  
 第三位 高橋 華音 森田少剣ク

五年生

優 勝 大西 羽未 今立道場  
 第二位 森川 沙恵 福井少剣ク  
 第三位 川瀬 乃音 武道学園剣教  
 第三位 荒屋 瑠奈 龍昇館

六年生

優 勝 橋詰 みゆ 向笠剣少  
 第二位 佐々木友愛 吉川ス少剣  
 第三位 中島 日織 福井少剣ク  
 第三位 大橋 朱里 立待ス少剣



# みんなの広場

## 剣道部・クラブ紹介

### 福井県警察機動隊

機動隊は、テロや災害などの重大な事案が発生した際、専門的能力を活かした人命救助活動や捜査活動等に従事する部隊です。私たち機動隊員は、こうした事案に対応するため「治安の最後の砦」として、日々厳しい訓練に励んでいます。平成二十八年度中は、熊本地震発生直後に広域緊急援助隊として、現地で救出救助活動に従事したり、各種抗議活動に伴う警備実施にあたるなど、その活動は県内外に及んでいます。

また、剣道・柔道・逮捕術・拳銃等の武道等を総称して、「術科」と呼んでおりますが、機動隊員は、それぞれの術科の特別訓練員に指定されており、警察部内を始め、各種大会に福井県警察の代表として出場しています。現在、剣道の特練員は十名が在籍しており、堀江師範の指導の下、日々、稽古に励んでいます。

さらに、平成三十年に開催

される「福井しあわせ元気国体」に向けての強化訓練に毎週参加させて頂き、佐藤・高橋両先生を始めとする全国の名だたる先生方の指導を仰ぎ、レベルアップを図っております。

このような中、七月十二日に愛知県で開催された中部管内警察剣道大会では、三十八年ぶりの準優勝という成績を挙げる事ができました。

最後に、剣道で培った気力と体力





### 春江中学校剣道部

坂井市立春江中学校男女剣道部は、三年生6名、二年生十一名、一年生九名の合計二十八名で活動をしています。小学生から剣道を始めた人や中学校になるまで竹刀を握ったことない人など、剣道の経験年数は人に

を存分に発揮して、「県民が安全で安心して暮らせる社会の実現」に向け職務にあたるとともに、今後も感謝の気持ちを忘れず稽古に励む所存です。

福井県警察機動隊 内藤 洋

よってバラバラですが、一人一人が一生懸命に日々練習に励んでいます。また、練習試合にも多く参加し、自分たちの技を磨いています。他校の色々な選手と試合をしたり、強い人の試合を見学したりすることは、自分のレベルアップに繋がるため、貴重な経験であると実感しています。このような日々の練習の結果もあり、少しずつですが試合でも勝てる回数が増え、先日の坂井地区春季強化大会において男子団体が3位になることができました。

今自分たちは、夏の大会で団体・個人ともに県大会に出場することを目標にして日々の練習に取り組んでいます。今はまだ課題も多いですが、このチームなら目標を達成できると信じ、より一層努力していきます。応援よろしくお願いします。

### 春江剣道教室

春江剣道教室は昭和五十二年四月、小学校体育館を道場とし、活動を始めました。平成元年、春江B&G海洋センターの完成を機に活動場所を変更し、現在に至っています。

「こんばんは！お願いします！」子供たちは玄関に入ると、管理人さんに大きな声でまず挨拶です。「試合に勝たせてあげたいが、それより



も時間を守り、大きな声で元気よく挨拶できる子になってほしい。」指導者全員がそう考えています。毎週火曜日と木曜日春江B&G海洋センターにて七時〜八時半までと短い時間ですが、基本を中心に稽古しています。

武道の「心・技・体」を大切にし、子供たちが中学・高校・一般と剣道を続けていけるよう、活動していきます。



剣道 称号段位合格者

居合道段位審査会

平成二十九年八月六日(日)
於 石川県白山郷公園武道館

【初段】 二名

中川 開人 (天附属舜中学校)
中川 拓人 (天附属福井高校)

【二段】 二名

清家 佑華 (福井市)

【参段】 一名

長谷川 祐美 (勝山市)

【四段】 一名

楠 敬宣 (越前市)

【五段】 一名

鎌田 貞之 (越前市)

剣道段位審査会

平成二十九年八月十一日(日)
於 敦賀市中郷体育館

【初段】 四十一名

宇都宮 慧 (栗野中1年)
西山 幸佑 (中央中1年)
水野 太遥 (武生一中2年)
三崎 洸征 (東陽中2年)
堀田 陽斗 (成和中2年)
屋敷 勇作 (灯明寺中2年)
脇本 夢 (春江中2年)
植村 啓吾 (明倫中2年)

縣 祐宇 (坂井中3年)
大島 朋浩 (芦原中3年)
和田 樹琉 (気比中3年)
保花 倭 (敦賀気比高1年)
松本 皓大 (福井高専1年)
佐竹 莊汰 (警察官)
輪ノ内 凌 (警察官)
山田 樹 (警察官)
大杉 慎悟 (警察官)
松山 洋輔 (警察官)
安田 悠也 (警察官)
朝日 佑治 (警察官)
宮崎 俊哉 (警察官)
下牧 憲弘 (警察官)
齋藤 有慶 (警察官)
山田 健太 (警察官)
西本 悠佑 (警察官)
加藤 寛巳 (警察官)
小林 政揮 (警察官)
堀内 里剛 (警察官)
中積 純一 (会社員)
大味 奈夕夏 (春江中1年)
小林 優花 (今庄中2年)
佐藤 心菜 (角鹿中2年)
尾二木 菜実 (小浜一中2年)
三好 菓鈴 (栗野中3年)
戸澤 伴栄 (松陵中3年)
山田 小夏 (松陵中3年)
垣本 愛果 (美方高1年)
中村 優希 (警察官)
山根 一華 (警察官)
児玉 沙矢加 (警察官)

【二段】 二十三名

横井 真弓 (警察官)
目黒 大士 (武生一中2年)
富田 快斗 (明倫中3年)
内藤 翼 (武生八中3年)
田熊 純曲 (角鹿中3年)
中村 俊貴 (鯖江中3年)
岡田 佳志彦 (明倫中3年)
寺前 寛一 (明倫中3年)
唐金 佑颯 (気比中3年)
宇都宮 穂 (栗野中3年)
竹内 亮輔 (明倫中3年)
土本 真聖 (敦賀気比高1年)
富士原 賢人 (敦賀気比高1年)
石谷 政宗 (敦賀気比高2年)
志賀 港龍 (敦賀気比高2年)
田中 太基 (敦賀気比高2年)
三崎 和紀 (福井高専2年)
籠 慎也 (敦賀気比高2年)
佐々木 雅俊 (警察官)
仲谷 卓也 (警察官)
木下 天寧 (高浜中3年)
遊津 可菜 (気比中3年)
江村 梨紗子 (敦賀気比高2年)
中溝 琉伽 (敦賀気比高2年)

【参段】 四名

内藤 祐香 (警察官)
小林 俊太 (警察官)
酒本 尚紀 (警察官)
阪口 和彦 (教員)

【四段】 五名

山本 佳那 (関東学院大4年)

【五段】 四名

元井 健伍 (会社員)
和中 律英 (教員)
高野 修一 (教員)
澤田 ともみ (会社員)

称号・六段以上合格者

平成二十九年夏
剣道七段 鞠山 佳彦 (敦賀)
剣道七段 森 宜子 (鯖江)
剣道六段 高間 昭彦 (鯖江)

訂正

剣道だより95号で「第30回福井県居合道大会兼全日本居合道大会選考会」の記事において「団体戦」入賞の選手名が「優勝 越前市剣道連盟Aチーム(長谷川翔平、——、松本敏夫)、次勝 越前市剣道連盟Bチーム(平山 聡、楠敬 宣、角裕 幸)」となっていました。が、「Aチーム(竹内 淳、——、長谷川翔平)、Bチーム(平山 聡、楠敬 宣、大嶋正典)」の誤りでした。深くお詫びいたします。

ペンリレー

# 女性剣士の部屋

私が剣道を始めたのは、小学校に入学する前でした。当時は、共に稽古をしている先輩方に容赦なく打たれ、手首に赤いあざをつけながらも、少しでも先輩方に近づきたいという一心で稽古に励んでいたように思います。そんな幼少期から始めた剣道ですが、今に至るまでに多くのことを経験し、多くのことを学びました。その中で、今も強く残っていることは、高校での出来事です。

高校時代、私はキャプテンとしてチームを引っ張ると同時に大将として戦っていました。しかし当時の私は、仲間が楽に試合ができるような言葉かけもせず、負けることを恐れてばかりで、大将としての役割を果せていませんでした。「自分自身が負けたくない」そんな思いが心のどこかにあつたのだと思います。そんな時、先輩からある言葉を頂きました。「キャプテンは仲間のために犠牲にならなきゃ。」

この瞬間、私は自分の弱さを思い知らされました。今までの私は自分にプレッシャーがかかることは言わなかったり、自分自身の負けを恐れて思い切った剣道をしなかったり。全て、自分を守る行為ばかりでした。キャプテンとして、仲間のことを考えていなかったのです。これを機に、自分に負荷がかかることでも声かけをするなど、「仲間のために」という気持ちで試合・稽古に臨むようになり、

鷹巣中学校 江南 梓

大将としての役割を果たせる回数も増えてきました。

私には好きな言葉があります。

「身を殺して仁を成す」

「自分を犠牲にしても人を思いやり、人として正しいことをする」という意味です。

これは、私がインターハイ出場を決めた際に、恩師から頂いた竹刀袋に書かれていた言葉で、まさしくあの出来事から学んだことです。

現在私は、福井市の中学校で男子ソフトテニス部の顧問をしています。剣道と違い、ペアと協力して行うスポーツのため、常にペアのことを考えてプレーしなければいけません。私が高校生の時に学んだことを生かして、「ペアのために自分の限界を超えてプレーできる」選手の育成を目指して、日々指導にあたっています。自分のことで精一杯の生徒たちが多いですが、子どもたちが試合で喜べるように、私も「生徒のために」自分の身を殺しながら指導していきたいと思っています。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B  
メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp) TEL・FAX(0776)28-6616